

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和元年 11 月 21 日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- 肉質に関して、健康度の指標となるグリコーゲン含量 (%) の平均値が昨年同月値より低く、一部の海域で 3% を下回っていることから、栄養状態は昨年同月と比べて低いと判断された。
- 貝柱の赤変個体は 5 個確認され、赤変度合を示す a 値の平均値はほとんどの漁場で昨年同月値と比べて高かった。
- 今回の調査でも貝の栄養状態の低下が確認されたことから、貝の管理にはこれまで以上の注意をお願い致します。

2 調査結果一覧

漁場*1	貝の種類	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体数
南部	日本貝	3.9(4.2)	0.4(-0.1)	1
南部	日中交雑貝*2	4.3(4.7)	0.2(-0.1)	0
中部①	日中交雑貝	2.1(3.1)	1.4(-0.2)	2
中部②	日中交雑貝	1.8(3.6)	0.8(0.8)	0
北部	日中交雑貝	2.6(7.6)	1.0(-0.5)	2
平均値		2.9(4.6)	0.8(0.0)	

*1 漁場：南部：由良半島以南 中部：由良半島から三浦半島 北部：三浦半島以北

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

() 内は昨年同月の値

3 調査方法

- 5 月から 11 月まで月 1 回 (概ね第 3 週)、各漁場・種類毎に 20 個を調査。
- 愛媛県漁業協同組合連合会宇和島支部が調査日約 2 日前に上記漁場より採取して持ち込んだアコヤガイをサンプルとした。今回は令和元年 11 月 19 日に持ち込み、11 月 21 日に調査した。

4 調査項目および判断指標

- グリコーゲン含量 (%)：アコヤガイの栄養の蓄積状況を示す指標で、数値が高いほど健康状態が良好。
- a 値：閉殻筋 (貝柱) の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。赤みを帯びた黄色で 3、明らかな赤色で 5 以上。